

に向け取り組んでいるところであります。

平成二十五年度からは本格的な事業展開を図るため、佐井村観光協会の法人化と観光コーデイネーターを配置し、新たな観光資源の発掘や「まち歩き」、「磯遊び」などの体験型観光の充実を図り、観光の誘客を図ってまいります。

また、不振が続く漁業については、ワカメを中心とした養殖事業の拡大を図り、未利用資源の商品化や特産品の開発に取り組むとともに、漁業体験など観光と連携し、漁家所得の向上と後継者の確保に努めてまいりたいと考えております。

幸いに当プロジェクトでは多くの漁業者と若者そして女性が参画しており、むらづくりに対する理解と積極的な意見交換には将来への希望を感じております。

佐井村は青森県内で二番目に人口の少ない小さな村となり、昨年、県内で一番人口の少ない西目屋村との地域連携協定を締結し、産

業、教育、文化などの交流を通じ、お互いに「小さくとも、キラリと輝く」むらづくりに努めることとしました。

さらに、自然災害等における災害時応援協定を締結し、地域の安心・安全に努めてまいります。

少子高齢化、医療・福祉、地域経済の不振など村の課題は山積しております。加えて高度化、多岐にわたる行政需要があり、これに対し村の財政は依然として厳しく、限られた職員であります。住民と行政の役割と責任を明確にし、課題解決と協働でのむらづくりに努めてまいりたいと考えております。

「人と地域が輝く『協働』と『地域力』のむら」を目指し、村民の皆さんが主役となつてのむらづくりと、村民目線に立った行政運営に努めてまいります。村民の皆さんには引き続きご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。